

ミツバチとマルハナバチの併用で収量アップ！



イチゴにおけるマルハナバチの ご利用ガイド

私たちはミツバチの飛
び辛い厳寒期や天候
不順時にも活動します

日本の在来種クロマルハナバチ

ナチュポール®・ブラック
ミニポール®・ブラック



アリスタライフサイエンス株式会社

メ

モ

クロマルハナバチとは？



マルハナバチは、ミツバチに近い仲間で花（花蜜、花粉）を生活の糧にして生活している社会性のハチです。巣が生活の基本単位で、女王蜂（♀）、働き蜂（♀）が協力しあって卵や幼虫、蛹の世話をします。約半年間の巣造りの期間に平均して働き蜂を数十～数百頭、新女王蜂を0～数十頭、雄蜂を数十～数百頭生産します。

	マルハナバチ	ミツバチ
分布の中心	北半球の温帯、亜寒帯	アジア、欧州、アフリカ
生活様式	1年生	多年生
コロニーサイズ	数十～数百	数千～数万
巣の構造	不定形	垂直巣版
働き蜂のサイズ	バラツキが大きい	一定
働き蜂の脱針性	無し	有り
振動受粉	可	不可
ナス科への訪花性	高	弱
採餌距離	数百m	数km
活動限界温度	6℃前後	10℃以上
悪天候時活動性	中	低
UVカットフィルムの影	弱（除去波長による）	強
狭い空間への適応性	高	低

クロマルハナバチ製品の特長

●低温、低照度下でも活動

ミツバチに比べ、温度の低い寒期や曇天、雨天時でも花粉の稔性が維持されていれば訪花(授粉)活動を行います

●数は少ないが、働きもの

ミツバチよりも働き蜂の数は少ないですが、1匹当たりの訪花数は多く、30分間に約300花を訪れます。

●ミツバチよりもおとなしい



ナチュポール®・ブラック

- 和名：クロマルハナバチ（在来種）
- 学名：*Bombus ignitus*
- 働き蜂数：50頭以上
- 適用面積：10～20 a *
- 平均寿命：45～60日*



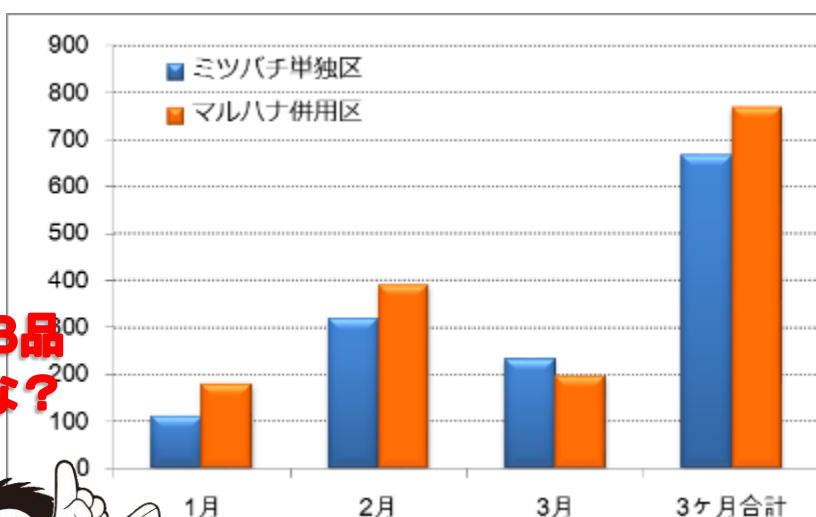
ミニポール®・ブラック

- 和名：クロマルハナバチ（在来種）
- 学名：*Bombus ignitus*
- 働き蜂数：40頭以上
- 適用面積：13 a まで*
- 平均寿命：40日程度*
- 小面積栽培に対応したコンパクト規格



冬場のB品
減らせないかな？

マルハナバチ
の併用がおすすめですよ！

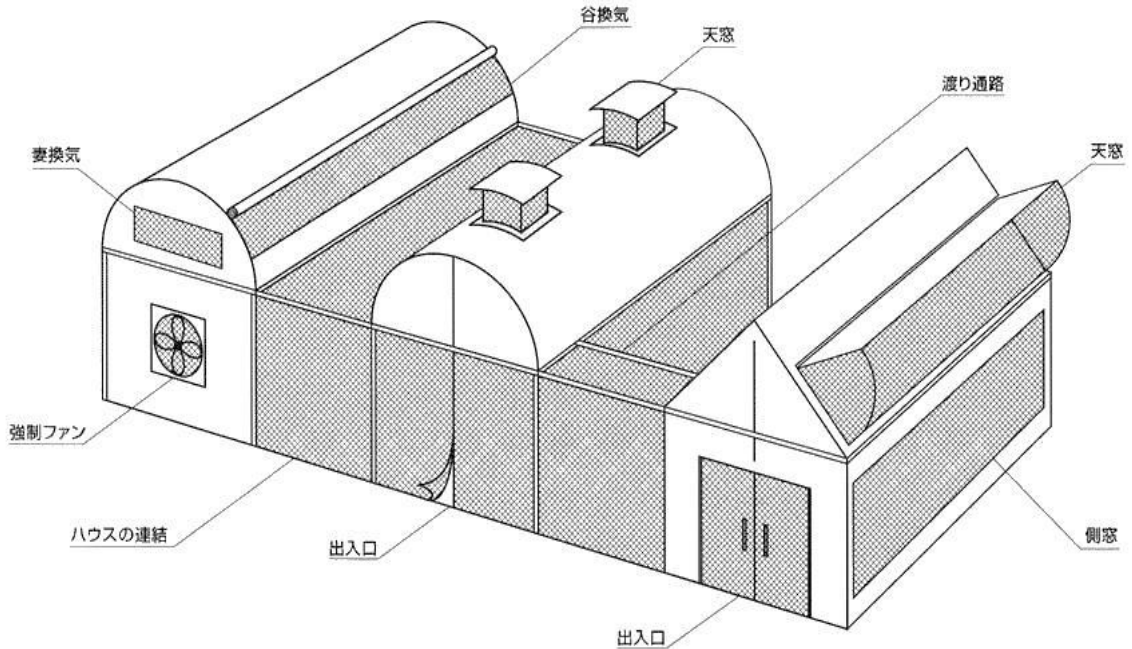


12月からの導入（約2ヶ月間併用）で、1月、2月の株あたり収量（g）が大きく増加。3ヶ月間で約15%も収量が増加しました

導入時の留意点

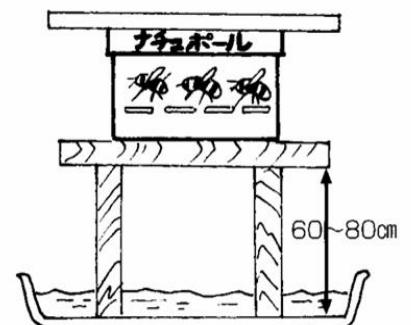
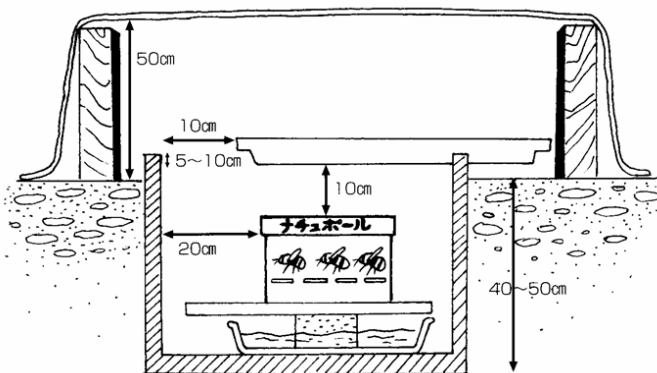
【ご利用前に・・・】

- ① 換気部分（天窗、谷間、側窓）にネットを展張されることをお勧めします



- ② 巣箱はハウスの中に設置。必ず日よけを設置してください

- 巣箱の設置場所は温度、湿度の変化が少ない場所を選んで
- 谷下は温度変化が激しかったり、水滴が落ちやすいので注意
- 直射日光が当たらないように、巣箱の上に屋根を
- 炭酸ガスを施用している場合には、巣箱は腰よりも高い場所に設置してください





【導入前の準備】

- ① 花は十分に咲いていますか？
- ② ハチの活動適温は10℃～28℃です。巣箱の設置場所は準備完了ですか？
- ③ 巣箱が到着したら、巣門の開放は翌朝に行いましょう

雨滴が当たらない
温度湿度が安定した場所

【巣箱の設置場所】

- ① 巣門正面に障害物がない場所
- ② 温度、湿度変化が少ない場所
- ③ 雨滴が落ちてこない場所
- ④ 巣箱には必ず日よけを！

